

2008年7月31日発行 第4727号

 三菱重工業株式会社 〒108-8215 東京都港区港南二丁目16番5号 電話:03-6716-2168(直通)
 お問い合わせ先 広報・IR部広報グループ

担当: 竹森・澤村

平成20年度 第1四半期 決算概要

連結

	平成20年度 第1四半期 〔自平成20年4月1日 至平成20年6月30日〕	平成19年度 第1四半期 〔自平成19年4月1日 至平成19年6月30日〕
受 注 高	10,542 億円	6,746 億円
売 上 高	6,983 億円	6,857 億円
営 業 利 益	222 億円	247 億円
経 常 利 益	329 億円	214 億円
税金等調整前 四半期純利益(損失)	△4 億円	271 億円
四 半 期 純 利 益	1 億円	170 億円
営業活動による キャッシュ・フロー	1,539 億円	—
投資活動による キャッシュ・フロー	△426 億円	—
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,445 億円	—
一 株 当 た り 四 半 期 純 利 益	0.06円	5.07円

注. 記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

注. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。
 また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 三菱重工株式会社
 コード番号 7011 URL <http://www.mhi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大宮 英明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 河本 雄二郎
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東大名札福

TEL 03-6716-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	698,342	—	22,270	—	32,957	—	189	—
20年3月期第1四半期	685,710	17.1	24,745	43.1	21,466	60.9	17,023	83.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年3月期第1四半期	0.06	—
20年3月期第1四半期	5.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
21年3月期第1四半期	4,450,270	—	1,462,305	—	31.9	—	423.24	—
20年3月期	4,517,148	—	1,440,429	—	31.4	—	423.17	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,420,414百万円 20年3月期 1,420,203百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	円銭
第2四半期連結累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	3,200,000	△0.1	120,000	△11.8	90,000	△17.8	54,000	△12.0	—	16.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 第2四半期連結累計期間に係る連結業績予想は行っていません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	3,373,647,813株	20年3月期	3,373,647,813株
② 期末自己株式数	21年3月期第1四半期	17,593,210株	20年3月期	17,573,785株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	3,356,063,798株	20年3月期第1四半期	3,355,940,736株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、この業績見通しにのみ依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願い致します。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の高替レート、日本の株式相場などが含まれます。

業績予想の前提となる条件等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における世界経済は、新興国を中心に堅調な経済成長が持続する一方、原油をはじめとする原材料価格の高騰による影響などから、世界中でインフレ懸念が高まってきました。このような状況の下、我が国経済においては、輸出や設備投資は概ね堅調に推移したものの、企業業績や個人消費へのインフレの影響が懸念されており、先行きの不透明感が高まりつつあります。

このような中、当第1四半期の当社の連結業績は、受注高が1兆542億円、売上高は6,983億円、営業利益は222億円、経常利益は329億円となりました。一方、棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額を特別損失に計上した結果、当四半期純利益は1億円となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、第2四半期及び第4四半期に高くなる傾向があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当社は、年度後半に向けて引き渡す工事が多く、第1四半期では、たな卸資産が増加し売掛金などの売上債権が減少する傾向がありますが、当第1四半期末の総資産は、前期末(平成20年3月期末)に比べ、668億円減少の4兆4,502億円となりました。

有利子負債については、1兆2,005億円となり、前期末から1,648億円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年度の業績は、売上高 3兆2,000億円、営業利益 1,200億円、経常利益 900億円、当期純利益 540億円の見通しであり、平成20年4月28日の決算短信で開示した連結業績予想から変更ありません。業績見通しの前提となる未確定外貨に係る為替レートは、1ドル100円、1ユーロ150円です。(詳細は12ページ 平成20年度見通し をご参照ください。)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

記載すべき該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

記載すべき該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算について、当社は当第1四半期連結会計期間における税引前四半期純利益に重要な永久差異を加減算し法定実効税率を乗じて計算し、連結子会社は主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として原価法によっていましたが、当第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号(平成18年7月5日企業会計基準委員会))が適用されたことに伴い、主として原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しています。

これに伴う当第1四半期連結会計期間末での簿価切下げ額は37,772百万円であり、平成20年4月期首時点での簿価切下げ額33,436百万円を「棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額」として特別損失に計上しています。この結果、営業利益及び経常利益は4,336百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は37,772百万円減少しています。

3. 当第1四半期連結会計期間から、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号(平成18年5月17日企業会計基準委員会))を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。
これに伴い、期首の利益剰余金が30百万円減少しています。また、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。
4. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、リース取引開始日が当連結会計年度開始後であるリース取引については通常の売買取引に係る会計処理によっています。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しています。
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が当連結会計年度開始前のリース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	234,062	274,885
受取手形及び売掛金	932,862	1,086,580
有価証券	5,806	3,569
製品	154,639	147,070
原材料及び貯蔵品	127,726	128,309
半成工事	951,448	889,473
繰延税金資産	118,423	114,548
その他	312,590	298,125
貸倒引当金	△7,156	△5,677
流動資産合計	2,830,404	2,936,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	314,247	316,559
機械装置及び運搬具(純額)	269,847	272,442
工具器具備品(純額)	78,714	82,779
土地	153,068	153,615
リース資産(純額)	126	—
建設仮勘定	50,807	50,256
有形固定資産合計	866,811	875,653
無形固定資産		
のれん	4,182	4,926
その他	22,497	24,110
無形固定資産合計	26,679	29,037
投資その他の資産		
投資有価証券	662,588	609,248
長期貸付金	2,760	3,119
繰延税金資産	7,588	7,411
その他	67,151	74,281
貸倒引当金	△13,714	△18,490
投資その他の資産合計	726,374	675,570
固定資産合計	1,619,865	1,580,261
資産合計	4,450,270	4,517,148

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	695,314	733,500
短期借入金	77,098	233,801
1年内返済予定の長期借入金	84,651	85,416
1年内償還予定の社債	40,300	40,300
製品保証引当金	21,934	23,660
受注工事損失引当金	7,591	6,893
前受金	585,886	469,285
その他	209,335	233,037
流動負債合計	1,722,112	1,825,894
固定負債		
社債	285,359	286,057
長期借入金	713,128	719,818
繰延税金負債	110,741	94,134
退職給付引当金	95,610	89,936
PCB廃棄物処理費用引当金	4,300	4,300
その他	56,711	56,577
固定負債合計	1,265,851	1,250,824
負債合計	2,987,964	3,076,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	265,608	265,608
資本剰余金	203,895	203,893
利益剰余金	774,989	787,007
自己株式	△5,057	△5,045
株主資本合計	1,239,436	1,251,464
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	185,226	157,546
繰延ヘッジ損益	2,375	7,346
為替換算調整勘定	△6,624	3,847
評価・換算差額等合計	180,977	168,739
新株予約権	549	549
少数株主持分	41,342	19,676
純資産合計	1,462,305	1,440,429
負債純資産合計	4,450,270	4,517,148

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	698,342
売上原価	599,257
売上総利益	99,084
販売費及び一般管理費	
貸倒引当金繰入額	4
役員報酬及び給料手当	30,131
研究開発費	10,797
引合費用	5,761
その他	30,119
販売費及び一般管理費合計	76,814
営業利益	22,270
営業外収益	
受取利息	1,609
受取配当金	3,988
持分法による投資利益	1,846
為替差益	9,854
その他	1,692
営業外収益合計	18,991
営業外費用	
支払利息	4,934
固定資産廃却損	844
その他	2,525
営業外費用合計	8,304
経常利益	32,957
特別損失	
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	33,436
特別損失合計	33,436
税金等調整前四半期純損失(△)	△478
法人税等	△177
少数株主損失(△)	△491
四半期純利益	189

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△478
減価償却費	33,242
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,836
受取利息及び受取配当金	△5,597
支払利息	4,934
持分法による投資損益(△は益)	△1,846
固定資産廃却損	844
売上債権の増減額(△は増加)	136,461
たな卸資産及び前渡金の増減額(△は増加)	△91,966
その他の資産の増減額(△は増加)	△16,801
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,263
前受金の増減額(△は減少)	126,702
その他の負債の増減額(△は減少)	26,451
その他	△5,692
小計	186,826
利息及び配当金の受取額	5,966
利息の支払額	△4,366
法人税等の支払額	△34,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(△は増加)	505
有価証券の売却及び償還による収入	21
有形及び無形固定資産の取得による支出	△35,989
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,819
投資有価証券の取得による支出	△10,555
投資有価証券の売却及び償還による収入	95
貸付けによる支出	△11
貸付金の回収による収入	1,402
その他	80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,632
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△153,590
長期借入れによる収入	3,991
長期借入金の返済による支出	△8,400
少数株主からの払込みによる収入	23,486
配当金の支払額	△9,520
少数株主への配当金の支払額	△489
その他	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△144,536
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,997
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△38,209
現金及び現金同等物の期首残高	262,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	224,642

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	船舶・ 海洋 (百万円)	原動機 (百万円)	機械・ 鉄構 (百万円)	航空・ 宇宙 (百万円)	中量産品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 共通 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	71,009	221,322	79,098	99,195	203,706	24,010	698,342	—	698,342
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	61	5,116	4,650	134	2,605	2,228	14,797	(14,797)	—
計	71,071	226,438	83,748	99,329	206,312	26,239	713,140	(14,797)	698,342
営業利益 (△は営業損失)	4,804	13,878	△2,252	△2,573	6,317	2,096	22,270	—	22,270

[所在地別セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 共通 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	578,059	49,707	16,267	43,308	10,999	698,342	—	698,342
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	76,397	2,001	12,548	1,065	253	92,265	(92,265)	—
計	654,456	51,709	28,815	44,373	11,252	790,608	(92,265)	698,342
営業利益	19,915	164	430	1,631	128	22,270	—	22,270

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	アジア	北米	中南米	欧州	中東	アフリカ	大洋州	合計
I 海外売上高(百万円)	88,841	87,173	71,561	58,660	43,189	3,205	2,796	355,428
II 連結売上高(百万円)								698,342
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.7	12.5	10.2	8.4	6.2	0.5	0.4	50.9

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

参考資料

前四半期にかかる財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

	19年度 第1四半期 (19/4～19/6)
売上高	685,710
売上原価	590,546
売上総利益	(13.9%) 95,164
販売費及び一般管理費	70,418
営業利益	(3.6%) 24,745
営業外収益	
受取利息及び配当金	5,365
持分法による投資利益	667
その他収益	1,638
合計	7,671
営業外費用	
支払利息	4,721
為替差損	3,396
その他費用	2,833
合計	10,950
営業外損益(△は損失)	△ 3,279
経常利益	(3.1%) 21,466
特別利益	
固定資産売却益	5,721
税金等調整前当期純利益	(4.0%) 27,188
法人税等(減算)	10,241
少数株主損失(加算)	76
当期純利益	(2.5%) 17,023

(2) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位 百万円)

			19年度第1四半期 (19/4～19/6)
船舶・海洋	売上高	外部顧客に対する売上高	68,810
		セグメント間の内部売上高又は振替高	116
		計	68,926
	営業利益(△は営業損失)		1,682
原動機	売上高	外部顧客に対する売上高	221,256
		セグメント間の内部売上高又は振替高	6,189
		計	227,445
	営業利益(△は営業損失)		14,559
機械・鉄構	売上高	外部顧客に対する売上高	83,541
		セグメント間の内部売上高又は振替高	2,959
		計	86,501
	営業利益(△は営業損失)		△ 2,748
航空・宇宙	売上高	外部顧客に対する売上高	82,893
		セグメント間の内部売上高又は振替高	109
		計	83,002
	営業利益(△は営業損失)		1,112
中量産品	売上高	外部顧客に対する売上高	201,789
		セグメント間の内部売上高又は振替高	2,193
		計	203,982
	営業利益(△は営業損失)		7,907
その他	売上高	外部顧客に対する売上高	27,418
		セグメント間の内部売上高又は振替高	1,849
		計	29,268
	営業利益(△は営業損失)		2,232
消去又は共通	売上高	外部顧客に対する売上高	-
		セグメント間の内部売上高又は振替高	△ 13,417
		計	△ 13,417
	営業利益(△は営業損失)		-
連結合計	売上高	外部顧客に対する売上高	685,710
		セグメント間の内部売上高又は振替高	-
		計	685,710
	営業利益(△は営業損失)		24,745

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

			19年度第1四半期 (19/4～19/6)
日 本	売上高	外部顧客に対する売上高	568,736
		セグメント間の内部売上高又は振替高	55,531
		計	624,267
	営業利益		20,774
北 米	売上高	外部顧客に対する売上高	58,416
		セグメント間の内部売上高又は振替高	2,827
		計	61,244
	営業利益		1,945
ア ジ ア	売上高	外部顧客に対する売上高	11,440
		セグメント間の内部売上高又は振替高	9,361
		計	20,801
	営業利益		310
欧 州	売上高	外部顧客に対する売上高	36,134
		セグメント間の内部売上高又は振替高	1,005
		計	37,140
	営業利益		938
そ の 他	売上高	外部顧客に対する売上高	10,982
		セグメント間の内部売上高又は振替高	338
		計	11,320
	営業利益		776
消 去 又 は 共 通	売上高	外部顧客に対する売上高	-
		セグメント間の内部売上高又は振替高	△ 69,064
		計	△ 69,064
	営業利益		-
連 結 合 計	売上高	外部顧客に対する売上高	685,710
		セグメント間の内部売上高又は振替高	-
		計	685,710
	営業利益		24,745

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

				19年度第1四半期 (19/4～19/6)
海 外 売 上 高	ア	ジ	ア	99,945 (14.6%)
			米	97,632 (14.2%)
	欧	州	57,764 (8.4%)	
	中	南	米	49,703 (7.2%)
	中		東	43,875 (6.4%)
	大	洋	州	3,905 (0.6%)
	ア	フ	リ	カ
合			計	356,170 (51.9%)
連 結 売 上 高				685,710 (100.0%)

(%)は構成比を示す。

平成20年度見通し

セグメント別受注高

(単位 億円)

	連 結
船 舶 ・ 海 洋	3,200
原 動 機	12,400
機 械 ・ 鉄 構	5,200
航 空 ・ 宇 宙	6,300
中 量 産 品	9,000
そ の 他	1,300
消 去 又 は 共 通	△400
合 計	37,000

セグメント別売上高

(単位 億円)

	連 結
船 舶 ・ 海 洋	2,300
原 動 機	10,000
機 械 ・ 鉄 構	4,900
航 空 ・ 宇 宙	5,000
中 量 産 品	9,000
そ の 他	1,300
消 去 又 は 共 通	△500
合 計	32,000

業績見通し

(単位 億円)

	連 結
売 上 高	32,000
営 業 利 益	1,200
経 常 利 益	900
当 期 純 利 益	540

1株当たりの配当金

中間3円, 期末3円, 合計年間6円

・上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、2ページを参照してください。

設備投資額

(単位 億円)

	連 結
設 備 投 資 額 (注)	2,250

(注) 設備投資額は固定資産の新規計上額 (建設仮勘定の計上額)。